

# 対する代表質問

本定例会冒頭で市長が述べた令和6年度施政方針に対して、市議会各会派の代表5名が、3月4日の本会議で代表質問を行いました。主な内容は次のとおりです。

## 稲志会



## 川村 議員

## 新政会



## 坂田 議員

## 公明党



## 湯谷 議員

**問** 国や都の予算編成による市政への影響について。

**答** 歳入面では、増収が見込まれる。歳出面では、こども・子育て支援、教育、地域のデジタル化などの各分野において、補助金などを有効活用できることから、特段影響はない。

**問** 市の将来像について。

**答** 「緑につつまれ友愛に満ちた市民のまち稲城」に加え、2030年代を見据え「みんなであつくる笑顔と未来を目指す」。

**問** 市債の予算計上に際し、健全財政の維持に対する考え方について。

**答** 長期的に持続可能な財政運営を堅持する。

**問** 子育て世帯支援策のサポート体制の充実について。

**答** 活動会員の交通費助成を4月から開始する。ファミサポマイスター制度については、講習受講を終えた活動会員に、1時間あたり2000円を報酬に上乗せする事業を9月以降に開始する。

**問** 地域包括支援センターこうようだいの事務所の移転支援について。

**答** さらに銀行向陽台支店の無人化による空いたスペースの有効活用が図られるとともに、圏域のニュータウン地区の高齢化に伴うサービス需要の増加に対応する。令和6年度の第1四半期内の移転を予定している。

**問** 稲城市発達支援センター分室を開設する経緯について。

**答** 乳幼児期から成人期まで継続して、ライフステージに応じた切れ目のない発達支援を充実させ、利用者の利便性の向上を図るため

に、旧第四保育園を整備・活用することとした。児童発達支援センターの機能も有していることから、児童の発達支援の充実が挙げられる。令和6年4月の開設を予定している。

**問** 東京ヴェルディおよび読売ジャイアンツとの公民連携による事業概要およびスケジュールについて。

**答** TOKYO GIANTS TOWN構想の周知を目的に令和6年12月15日にシンポジウムを開催するとともに、商店街などへフラッグの掲出および横断幕の制作などを商店街などと調整し設置する。

**問** 令和6年度における市施行および組合施行の土地区画整理事業について。

**答** 市施行4地区は、権利者との合意形成を図り、建物移転などを進めるとともに、道路や宅地などの整備を行う。組合施行の南山東部地区は、令和7年3月の新ジャイアンツ球場のオープンに合わせ主要幹線道路である読売ランド線および稲城南多摩線の開通を目指し、築造工事を行うとともに、南山小学校北側の街区などの宅地の整備を進め、計画的な保留地処分を行う。

**問** 市ホームページの全面改修に取り進む背景について。

**答** 情報を探しやすいなど意見を多くいただいていることなどから、全面改修に取り組む。令和6年度末の公開を目指している。

**問** 体育施設の予約から全てオンラインにて可能となることで期待する効果について。

**答** 公共施設に出向くことなく全ての手続きが完了することで、利用者の利便性の向上が図られる。

**問** 不安定な国際情勢が市民生活に与える影響について。

**答** エネルギーや食料品などの物価高騰について特に懸念している。

**問** 生成AIが市民の生活や行政サービスに与える影響について。

**答** 今後想定される窓口や問い合わせ対応への自動応答や各種文書の作成補助など、市民サービスの向上および行政事務の効率化が期待される。

**問** 第五次稲城市長期総合計画のこれまでの事業評価と今後の見通しについて。

**答** 新型コロナウイルスの影響を受けつつも、目指すべく将来都市像の実現に向けて着実に各種取り組みを進めており、今後も引き続き限られた人材や財源を効率的かつ効果的に活用しながら、計画事業を着実に推進する。

**問** 教育相談室分室の開室および教育相談員の増員の効果について。

**答** 開室日を増やすことによる迅速かつ丁寧な相談対応が期待される。

**問** 脳の健康度測定事業について。

**答** 市医師会と調整を行っており、当日は検査会場に、医師が常駐する。市立病院との連携については試行実施を踏まえ検討する。

**問** 土地区画整理事業について。

**答** しつかりと財源を確保し、スピード感を持って事業に取り組み、事業進捗を図る必要があると認識している。

年3月31日までと都より聞いていた。

**問** 鶴川街道百村区間の用地買収状況と今後のスケジュールについて。

**答** 都より、令和5年4月1日現在、道路用地の取得率は約34パーセントと聞いている。

また、今後のスケジュールについては、用地の取得が完了した箇所から順次道路工事等を実施し、完了予定時期は、現時点において、令和12年3月31日と聞いている。

**問** 市内のバス公共交通路線の見直し検討について。

**答** 「稲城市地域公共交通会議」などの中で検討を行い、その内容について、市ホームページや市広報紙などを活用して市民への丁寧な説明に努める。

**問** 自治会防犯カメラ運用経費補助金の具体的な内容について。

**答** 自治会防犯カメラ設置費補助金により防犯カメラを設置した自治会から、維持費についての支援要望が多く寄せられていたことに応え、電気代や電柱に設置した場合の共架料の一部を補助することとした。補助を実施することで地域コミュニティの核をなす自治会の活動の活性化が期待されるほか、地域の防犯力向上にも資するものと考えている。

**問** 今後の国や都の物価高騰対策、子育て世代への支援対策について。

**答** 国や都と連携し、適切な財源を確保した上で、必要な時期に必要な施策を実施する。

**問** マル子およびマル青の所得制限撤廃の概要について。

**答** 都の制度において所得制限を超過し、医療費助成の対象外となる子どもの医療費を、市が単独で財源を補填して助成の対象とすることにより、高校生までのすべての子どもの医療費を助成するもの。

**問** 「国連を支える世界こども未来会議 in INAGI」の概要について。

**答** 市立小学校の代表児童が市や世界の未来についてアイデアを出し合い、ディスカッションを行うものである。

**問** 市が学校給食費の増額分を時的限的に補助することへの概要と期待される効果について。

**答** 児童生徒の保護者の負担軽減を図り、これまで通り栄養バランスや量・質を保った安全安心な学校給食を提供するもの。

**問** 小学校特別教室空調設備設置工事の概要とスケジュールについて。

**答** 実技教科の授業を行う特別教室のうち空調設備が未設置の教室について、稲城第二小学校および稲城第三小学校を除く小学校10校に設置する。令和6年夏季休業日期間を中心に工事を行う予定。

**問** 「仮称」第四次稲城市子ども読書活動推進計画の策定スケジュールについて。

**答** 図書館協議会における協議、市民意見公募を経て、令和6年度末までに策定する。

**問** 稲城市発達支援センターの分室の概要について。

**答** 全年齢を対象とした発達相談を実施し、教育相談室・特別支援教育相談室とも密接に連携しながら支援を行うほか、児童福祉法に基づき児童発達支援センターとして、児童発達支援事業や保育所等訪問事業、障害児相談支援も実施する。

**問** 重症心身障害児(者)等通所施設の概要について。

**答** 重症心身障害児(者)などの日中活動の場として、未就学児を対象とした児童発達支援事業、学齢児を対象とした放課後等デイサービス事業、成人を対象とした生活介護を行う多機能の通所事業所である。

**問** 在宅の人工呼吸器を使用する障害者などへの自家発電装置などの給付の概要について。

**答** 都が実施している、指定難病患者などへの電源設備整備事業の対象とならない方に対し、自家発電装置または蓄電池を給付するもの。これまで制度の対象とならなかった、指定難病患者など以外の人工呼吸器使用者に対し、市独自の制度により、支援が可能となる。

**問** 自治会防犯カメラ運用経費補助金の効果について。

**答** 電気代や電柱に設置した場合の共架料の一部を補助する。補助を実施することで地域コミュニティの核をなす自治会の活動の活性化が期待されるほか、地域の防犯力向上にも資するものと考えている。